

分娩取扱施設アクセス支援事業助成金申請書

【記入例】

医療機関へ提出際には妊婦さんの住所、氏名、電話番号を記載した上で提出してください

住所	〒	電話	年 月 日
ふりがな	氏 名	生年月日	年 月 日

【分娩した施設】

施設名	八戸市民病院	所在地	八戸市田向3-1-1
分娩日	令和〇年 〇月 〇日	住所地からの移動に要した時間	60分

交通手段にチェック
自家用車の場合、片道の距離を記入

【①交通費】

移動日	【往路】 7年 4月 1日	【復路】 7年 4月 11日
移動手段	<input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 自家用車 : 片道(55)km	<input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 自家用車 : 片道(55)km
要した費用	交通費 2,035 円	交通費 2,035 円
要した費用(計)	円	

距離×37円の金額を記入
例：55km×37円=2,035

【②宿泊費】

利用期間	泊数	宿泊先	金額
7年 4月 1日 ~ 7年 4月 5日	5泊	〇〇〇ホテル	円
年 月 日 ~ 年 月 日			円
年 月 日 ~ 年 月 日			円
年 月 日 ~ 年 月 日			円
要した費用(計)	円		

以下、町が記載

合計金額 × 0.8の金額が助成されます

【助成金申請額(①交通費+②宿泊費)】

区分	交通費計	宿泊費計	合計	市町村助成決定額 (市町村記載欄)
合計	円	円	円	円

【申請上の注意】

- (1)申請書提出の際に、母子健康手帳写し(診療日、分娩日が記載されている部分)を持参すること。
- (2)交通費に係る領収書及び宿泊費に係る領収書を提出すること。
※タクシーの領収書にはボールペン等で発着地を記載すること。

【記載上の注意】

- (1)自家用車又は公共交通機関を利用した場合は、自宅又は里帰り先から最寄りの分娩取扱施設又は周産期母子医療センターまで通常利用される停留所間または駅間について、市町村の旅費規程(車賃1km=37円)での算出額×0.8の料金を記載すること。
※自宅又は里帰り先から当該施設までの距離×37円×0.8
- (2)タクシーを利用した場合は、実費額×0.8の料金を記載すること。
※行数が足りない場合は、様式をコピーして記載すること。

ハイリスク妊婦該当事項 (周産期母子医療センター記載欄 ※ハイリスクに該当する場合のみ記載)

周産期母子医療センターの名称	①	
記入日	年 月 日	
記入者所属・氏名	①	②
該当事項	① (該当する番号すべてに○をつけてください。) 1. ハイリスク妊娠管理加算 2. ハイリスク分娩管理加算 3. ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩に相当の疾患を有する者	
入院期間	① (入院日) 年 月 日	② (退院日) 年 月 日

ハイリスク妊婦に該当する場合は医療機関に記入してもらう

該当事項3の場合は医療機関から該当する項目にチェックを記入してもらう

①疾患名 (該当事項3に該当する場合、当てはまるもの)

ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩に相当の疾患を有する者

妊娠22週から32週未満の早産 (早産するまで) 妊娠高血圧症候群重症の患者

前置胎盤 (妊娠28週以降で出血等の症状を伴う場合に限る。)

妊娠30週未満の切迫早産の患者であって、子宮収縮、子宮出血、頸管の開大、短縮又は軟化のいずれかの兆候を示しかつ以下のいずれかを満たすものに限る。

(イ) 前期破水を合併したもの

(ロ) 羊水過多症又は羊水過少症のもの

(ハ) 経腔超音波検査で子宮頸管長が20mm未満のもの

(ニ) 切迫早産の診断で他の医療機関より紹介または搬送されたもの

(ホ) 早産指数 (tocolysis index) が3点以上のもの

多胎妊娠 子宮内胎児発育遅延 胎児に何らかの疾患が認められた者

心疾患 (治療中のものに限る。)

糖尿病 (治療中のものに限る。)

甲状腺疾患 (治療中のものに限る。)

腎疾患 (治療中のものに限る。)

膠原病 (治療中のものに限る。)

特発性血小板減少性紫斑病 (治療中のものに限る。)

白血病 (治療中のものに限る。)

血友病 (治療中のものに限る。)

出血傾向のある状態 (治療中のものに限る。)

HIV陽性 Rh不適合

当該妊娠中に帝王切開術以外の開腹手術 (腹腔鏡による手術を含む。) を行った患者又は行う予定のある患者

精神疾患 (当該保険医療機関において精神療法を実施している者又は他の保険医療機関において精神療法を実施している者であって当該保険医療機関に対して診療情報が文書により提供されているものに限る。)

40歳以上の初産婦 分娩前のBMIが35以上の初産婦者

常位胎盤早期剥離 双胎間輸血症候群

早産歴 (妊娠22週～妊娠36週までの出産歴) がある者

申請者(妊産婦)の署名記入

(申請者自署欄)

上記内容について、行政機関に提出することを同意します。

氏名 東北 花子

【助成申請書の取扱いについて】

- (申請者)
- 申請者は、この様式を周産期母子医療センター又は市町村に提出する前に、A面の住所・氏名・生年月日・電話番号を記入しておくこと。
 - 申請者は、治療期間中にこの様式を分娩のための入院中に周産期母子医療センターに提出して必要事項を記入してもらうこと。その後、市町村に提出すること。(ハイリスクに該当する場合のみ)

(周産期母子医療センター)
周産期母子医療センターは、申請者がハイリスク妊婦に該当する場合のみ、B面の①②と表示のある部分を記入すること。